

日本学術会議化学委員会分析化学分科会（第 25 期・第 5 回）議事録

日時：令和 3 年 6 月 15 日（水）18:00-19:00

場所：オンライン利用会議（Teams）

出席者（敬称略）：岡本裕巳、玉田 薫、谷口 功、加藤昌子、栄長泰明、尾嶋正治、
斎藤公児、佐藤 縁、竹内孝江、藤本俊幸、宮崎あかね

欠席者：なし

記録：佐藤 縁

配布資料：

資料番号なし 第 25 期化学委員会第 5 回分析化学分科会次第

資料 5-1 前回議事録案（第 4 回分析化学分科会議事録案 3. 24 開催分）

資料 5-2 日本学術会議分析化学分科会シンポジウム（尾嶋委員）案

議事内容

(1) 前回議事録の内容について再度確認（および承認）

資料 5-1 に基づき、前回議事録を確認した。内容についてはメールベースにて全員に確認済み。正式に議事録とした。

(2) 分析化学分科会が開催するシンポジウムについて

谷口委員長より、現状を調べた報告があった。JASIS 展（今年度）：基本的にはリモートで行う。展示も行うが、集合しての会議・フォーラムは基本的に開催しない方向。日本分析化学会：協賛は可能、学会（年会）などもオンライン開催。場所（会場）を借りて集まる方式はしない。日本化学会：新しい建物ができ会場を借りることができるかもしれない。シンポジウムの開催（オンライン・リアル併設の場合）については日本学術会議の建物利用するのが良いのではないか。コロナウィルスについては、秋までにはワクチン接種が行き渡ってある程度収まっていることを期待したい。

尾嶋委員より資料 5-2 に従って提案の説明があった。

最先端分析技術に関して議論シンポジウムを提案する。

プログラム案：半日開催。カーボンニュートラルについての基調講演、石井氏（東大理事）。

第一部はエネルギーの課題、堂免氏（東大・信州大、再エネ：水分解光触媒）、柴田氏（東大、省エネデバイス：超高分解 STEM）、駒場氏（東京理科大、蓄エネ：Na/K イオン二次電池）。

第二部は環境問題として、柴田氏（都立大、LIDAR による CO₂ 3 次元分布）、朱春茂氏（海洋研究開発機構、海洋マイクロプラスチック）。これにパネルディスカッション（エネルギー・環境技術開発において求められる最先端分析、AI の活用）を開催して締めくくる。

提案に対し、各委員からは、どれも今すぐ聞いてみたい話である、社会に学術分野の研究者

がつながっていることを示すのに重要である、など、また開催日時を含め、様々な意見・感想があがった。

およその方針はこの案で進めることとした。シンポジウム開催に関しては、昨年度のような学術フォーラムとしての開催を念頭に置き、谷口委員長から情報をさらに集めてもらって、それをもとに検討、講師依頼については、この後、動きを待ち情報を共有しながら迅速に進めることとした。

以上